

この質問に対し、大部分の施設では差を認めず、差があるとすれば「個人差の問題である」（60.6%）と回答している。

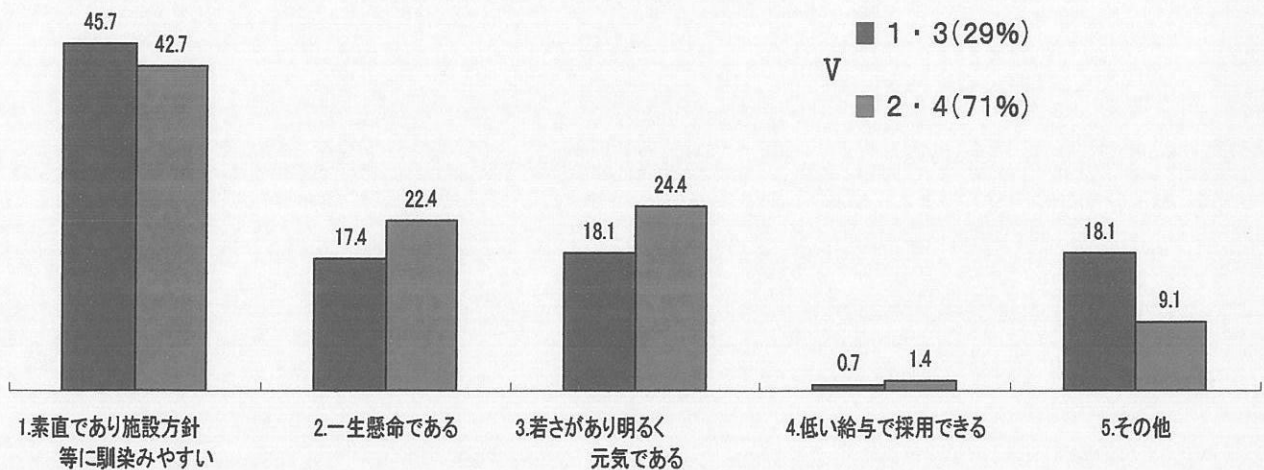
このことから、高校福祉科における教育は年齢が低い・社会経験が少ないというハンデを背負いながら、他の養成施設に一步も引けをとらず、むしろアンケートからは全般的に高い評価を受けているものと考えているものである。

しかし、全般的に高い評価を受けている中であって、差を認めた評価をしていることがあるので、これについて他の評価との差を見てもみることにする。

「差がある」「ないとも言えない」と高卒資格者に低い評価をしていると考えられる施設であっても、全般的に見ると他の施設の評価と大きく差がない回答となっている。

アンケート項目別に見ると、次のとおりである。

I 高等学校福祉科卒業の介護福祉士を採用する理由は何ですか？



即ち1. 採用する理由では、

「素直であり、施設方針等に馴染みやすい」と回答した先が45.7%で、2・4の評価施設の42.7%を3ポイント上回っている。

このことが、高卒資格者のよいところを表しているものであり、高卒資格者が劣っているとの評価には結びつかないものと考えられるものである。

II 高等学校福祉科卒業の介護福祉士の良いところは何ですか？

